

覺悟とを必要としなければならぬ。労働組合は労働階級の日常生活害の一一致點を組織形態の基調とする

とき、今日の如き戦線の分裂は労働組合の存在條件を破壊する。

資本攻勢と共に對する相對的労働攻勢の現下に於ての戦線の統一に對しては、凡ゆる犠牲と努力を是れに捧げねばならぬ。

失業反対の闘争は資本主義の根底をおびやかすに十分で、今日に於ける失業は上向期の資本主義時代の景氣循環によつて起る失業で無く、永久に就職の機會を持ち得ざる生産關係の過剰としての失業で餓死を強要される以外に何物も與へられる大衆である。此の大衆的失業は労働條件悪化の主因をなし、その影響は總ての労働階級に重苦しい重壓を加へて居る。失業反対の闘争は工場大衆と失業大衆の共同戦線を以て大衆的闘争に展開せねばならぬ。

四、重要な部門の行動方針

過去に於ける部門活動は實に不活潑であつた。それは尙組織の不統一と行動方針の不備なる所に原因を有する。過去の不活潑を清算して新しき行動方針のもとに組織を確立すべき事は闘争力の擴大強化の爲に絶対に必要とされる。此所に特に重要にして即時實行すべき事項を列記して行動の基準とする。

A 組織部 行動方針

1 大衆的労働組織の結成

資本の攻勢より起る自然發生的な闘争の統制と、其の闘争の擴大の爲に職場代表者會議、產業別代表者會議等々の大衆的労働組織を促進すべきである。

2 一組合中心主義の清算

現在の加盟組合は歴史的なる關係によつて、各組合は一組合中心の狀態にある。闘争力の集中による實質的總聯合を結成の爲に一組合中心主義を清算し、全國的的一大組合主義實現の前提として地域一大組合の實現に努力しなければならぬ。

3 組織部の任務

組織部の任務を分ちて二とする。其の一は現有勢力をより強化するためには内部統制の努力であり、

二は未組織労働者の組織化である。

A 内部組織の強力化

現在の如く資本主義が行詰り、資本家の搾取が思ふまゝに行はれぬ場合は第一に労働者の整理を行ひ、又賃銀値下げ等を断行する傾向を持つ、現在に於ては、組織形態をより強力に統制する必要を有